

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	い〜まCrea原			公表日	令和7年 3月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動をするほどの広いスペースはありませんが、療育を行うにあたってのスペースを確保することはできています。	公園などを活用して運動する機会や外出の機会を設けられるように努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもたちが安心・安全に過ごしてもらえるように職員を適切に配置しています。	年々、人手不足が深刻になってきています。より多くの方に当事業所のことを知っていただけるよう努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	民家を借りてサービスを提供しているため、お家にいるような感覚で安心して過ごしていただくことができます。	段差などがあり、バリアフリー化が十分でないため、転倒などの怪我や事故防止に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもたちが伸び伸びと活動できるよう環境の整備に努めています。	インフルエンザやコロナなどの感染症が蔓延している時期は、換気や消毒などを徹底し、感染症対策に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもさんが落ち着かない時に安心して過ごせるよう個室など静養できるスペースを完備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議や研修を通じて、常に改善を心掛けています。	より良いサービスが提供できるよう会社全体で業務改善に向けて取り組んでいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、保護者向けのアンケートを実施しています。	頂いたご意見に対して、すぐに対応することが難しいこともありますが、迅速に対応できるよう努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングで積極的に意見交換をしています。また意見を言いやすい環境づくりに努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部による評価は実施していません。	必要に応じて第三者評価の実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間計画に基づいて研修を実施し、職員による支援の質の向上に努めています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上に掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		面談を年2回実施しています。保護者のニーズや本人にとって必要なことを考え、支援計画を作成しています。	適切なアセスメントが行えるよう研修などを実施し、子どもたちに適した課題を設定できるよう努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で協議し、子どもたちの課題を全体で共有した上で作成するように努めています。	より多くの職員が話し合いに参加できるように努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書を職員がいつでも閲覧できるようにファイリングして保管しています。	職員が支援計画の内容を意識して支援できるように定期的に支援計画の内容をミーティングなどで共有します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査など標準化されたアセスメントツールを使用し、子どもたちの状況を把握できるようにしています。	アセスメントツールだけでなく、正しくアセスメントができるよう指導者の育成にも力を入れています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」を網羅した支援計画を作成しています。また、その内容を踏まえて支援内容を設定しています。	「地域支援・地域連携」については、課題があるため関係機関との連携に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		研修や会議を通して、活動プログラムをチームで立案しています。	個人の考えとしてではなく、チームで立案しているように努めます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		新しいことを積極的に取り入れるなど、定期的にプログラム内容を見直し、固定化されないようになっています。	より子どもたちが楽しく学べるようにプログラム内容を充実させていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団での目標と個別でも目標を設定し、支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		指導開始前にミーティングを行い、子どもたちの最近の様子や課題について話し合いを行っています。	話しやすい雰囲気をつくり、活発な意見交換ができるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要に応じて支援終了後に実施しています。基本的には翌日のミーティングで振り返りを行っています。	些細なことでも記録に残し、情報共有を徹底していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子どもたちの日々の様子を記録し、ミーティングなどで話し合い、支援内容や支援方針の見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとに個別面談を実施しています。その都度、必要に応じて支援計画の内容を見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスにガイドラインに沿って様々な支援プログラムを設定しています。	外出の機会を設け、地域との交流の機会を充実できるよう努めます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもたちのメンタルや体調に応じて、支援内容を変更するなど子どもの意思に寄り添った支援を行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所より、担当者会議の案内があった際には、児発管もしくは児童指導員、またはその両方が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関との連携や何かあった際に、すぐに医療機関を受診できるように事前に近隣の医療機関を調べておくなど情報収集を行っています。	まだ日頃から関係を築くことができていない機関もあるため、地域の関係機関と連携が取れるように努めて参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		基本的には保護者の方を通じて、学校と情報共有を行いたいと思います。また必要に応じて学校の先生と直接的にお話をすることもあります。	全ての学校と関係を持っているわけではないので、より多くの学校の先生方との関係を構築し、情報共有が行えるようにしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の様子については、保護者の方からお話を聞くことが多く、現状は直接的に保育所や幼稚園の方とそういった機会を設けることができていません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者の方や移行先の事業所の方から要望があった際などに必要に応じて情報の提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		外部研修などで交流や意見交換をする機会はありますが、日頃から連携を取ることができていません。	より関係性を強化していけるよう努めて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現状は、そういった機会を設けることができていません。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期的に参加し、制度の変更などに迅速に対応していけるよう情報収集を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		個別面談や送迎時に子どもたちの状況をお伝えしています。ちょっとした変化や気になったことがあれば、速やかに保護者にお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングなどを実施することはできていませんが、保護者の不安を少しでもなくせるように丁寧に支援を行っています。	事業所での普段の様子や行っていることを伝え、ご家庭でも取り組めることを提案できるよう努めて参ります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に分かりやすく、丁寧に説明を行っています。	普段行っていることが、より伝わるよう分かりやすい支援プログラムを作成し、公表していきます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の意向や想いを尊重し、その子どもに対して何が一番、必要なことなのかを考えて指導しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を作成・修正した際には必ず保護者の方の同意を得て、指導を行っています。	子どもたちの課題を明確に伝えることができるよう、なるべく分かりやすく個別支援計画を作成していきます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家庭での悩みから将来のことまで、様々な相談に対応できるよう努めています。また常に真摯な対応を心掛けています。	子を持つ親の気持ちに寄り添った支援が行えるように努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決窓口を設置し、迅速かつ適切な対応を心掛けています。	常に迅速かつ丁寧な対応を心掛け、今後も努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページがリニューアルされ、より事業所の情報が分かりやすくなりました。またInstagramを開設し、普段の取り組みや職員の紹介などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関するものは必ず鍵付きの書庫に保管するなど管理を徹底しています。	個人情報の取り扱いについては、今後も十分に気をつけていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障がいの特性に応じてコミュニケーションの手段を変えるなど配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、事前に役割や対応者を決めています。また研修や訓練を定期的に行っています。	保護者の方にも知っていただけるよう、情報を周知できるよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、訓練を定期的に行っています。	南海トラフ巨大地震に備え、日頃から入念に準備をしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にしっかりとアセスメントを行い、てんかん発作やアレルギーの有無など、服薬状況も確認させていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		調理体験などを行う場合は、事前にアレルギー等の確認をしています。	アレルギー食材を使用せず、他の子と一緒に食べられるように工夫しながら行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、日頃から研修や訓練を実施しています。子どもたちが安心・安全に過ごせるよう努めています。	あらゆる事態を想定し、臨機応変に対応できるよう普段から防犯意識を高めています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全計画を作成し、事業所に掲示していますが、広く周知することができていません。	保護者の方にもご覧いただけるよう情報の周知に努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さなことでもヒヤリハットに記入し、事故や怪我の防止に努めています。	私情や主観的な解釈は避け、発生時の状況について「見たまま」「聞いたまま」の事実のみを記載するよう留意します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、全職員に対して研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者に説明し、了解を得た上で「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」にサインをいただいています。	身体拘束をする必要がないよう指導方法や環境設定に努めます。	